



広報京丹後別冊「新コミュのススメ」 を発行します！

令和6年2月22日
京丹後市役所

市では、令和3年度から「新たな地域コミュニティ」の取り組みをスタートし、令和3年度に6地域だったモデル地域が令和4年度には11地域、令和5年度（令和6年2月22日現在）では22地域と増加しています。

取り組みのさらなる推進に向け、市内のモデル地域の活動を紹介し、持続可能な地域づくりの機運を醸成することを目的に、広報京丹後別冊「新コミュのススメ」を発行します。

1 概要

- (1) 冊子概要 36 ページ、B5 右開き、中綴じ、全ページフルカラー
- (2) 制作部数 21,000 部
- (3) 発行日 令和6年2月22日（木）※市内全戸配布

2 掲載内容

- (1) 主な内容 13 のモデル地域の取り組み、活動に対する思いなどを紹介
- (2) 掲載地域
 - 峰山町五箇（はじめの一步の踏み出し方）
 - 久美浜町佐濃（理想の事務局って？）
 - 大宮町全域（いろいろな人を巻き込みたい）
 - 久美浜町川上（公民館活動、どう続ける？）
 - 久美浜一区（みんなの居場所をつくろう）
 - 丹後町豊栄（花火で地域づくりって？）
 - 久美浜町湊（子どもとつくる地域って？）
 - 弥栄町鳥取校区（防災×結束力）
 - 網野町島津（よそ者って何してくれるの？）
 - 久美浜町二区（みんなで農地を守るには？）
 - 弥栄町吉野校区（伝統は笑顔でつなぐ）
 - 弥栄町野間（元気の秘訣って？）
 - 丹後町宇川（みんなの地域はみんなを守る）

3 問い合わせ

市長公室 地域コミュニティ推進課（TEL0772-69-1050）
※制作：市長公室 秘書広報広聴課

【新たな地域コミュニティ】人口減少や高齢化により行政区の機能低下が危惧される中、京丹後市では、地域が行政区を越えた旧校区や旧村といった範囲で「新たな地域コミュニティ」を形成し、若者や女性など多彩な人材の参画を促進しながら、地域が主体的に行う課題解決や地域づくりの取り組みを支援しています。

表紙 (イメージ)



新コミュの ススメ

KOHO KYOTANGO BESSATSU

New Community

京丹後版
地域づくりの
ヒント。



地域の人を、**思い**を、**取り組み**をまとめた一冊！



保存版

★ ★ ★ ★ ★ はじめの一歩の踏み出し方

二番・久次、五箇・桐野の4区からなる五箇地域。人口減少や高齢化、地域の課題は山積みで何から始めればいいのか迷いながら農業をもって動き出し、試行錯誤する五箇地域から地域の未来を描く「はじめの一歩」の踏み出し方のヒントを探ります。

思い切って地域の人々を頼ってみよう

新しいことを始めるには、大変なエネルギーが必要です。それでも、五箇地域の区長たちが、地盤づくりの新たな一歩を踏み出す決意をしたのは、自分たちの慣れ親しんだ土地の10年後を想像したから。

「このままだと五箇はどうなる？」
地域の未来を想像したとき、自然と「どこにかしならんといはならん」という気持ちになったといいます。しかし、何から始めたらいいの。スタートから壁にぶつかりました。区長たちは隣を突き合わせて何度も話し合い、五箇の活性化について相談しました。行なっていた善えは「自分たちだけで打開策は見えてこない」「思い切って地域の人に聞いてみよう」というものでした。こうして、地域の方々と集めた意見交換会を開催することになります。

作戦会議は「楽しいもの」

意見交換の場をどのような形で開くのかも重要で、大切なのは参加者が意見を言いやすい環境をつくること。「参加型のワークショップとはなんぞ？」と

の世代に来てもらう」「発言しやすいするには」……。内容について、区長さんやを養って作戦会議を行いました。課題を共有しながら1つずつクリアしていくことで、会議はどんどん楽しくなっているといいます。その中で、1つハートを突きました。「まずは参加する地域の人も、とにかく話を聞いて、自分たちは聞かされた」。

一人では無理でも仲間がいれば踏み出せる

ワークショップをやって行なっていくには、多くの地域の方が参加もしなければ、地域の人々もなかなか機会を待っていたのかもしれない。自由に参加してもらおうと、アセスやイベントがどんどん飛び出し、終わってみればワークショップは大成功。区長だけでは、思いつかないような意見をたくさん集めることができました。こうして、五箇の新コミュニティのスタートを切りました。仲間たちと何度も話し、悩みを共有して考えたら自分たちを踏み出した「はじめの一歩」。もし、スタートの仕方に悩んでいるのなら、まずは近い人と地域の未来について話してみると良いかもしれません。



五箇地域で交える区長たち。①から右上、横司さん（桐野）、安田和孝さん（桐野）、横山次郎さん（桐野）、松田正典さん（久次）



五箇地域では新たな地域課題が生まれている。地域の生産者や加工業者が連携して集まる「地場おこし協力隊」によるサワリナ「湯・五箇サワリナ」も、地域の人が五箇を知るきっかけになっている。いるみんなたちが「はじめの一歩」を踏み出している五箇地域。これからますます面白く盛りそうだ。

地域トピックス／五箇

1 Mineyama
goka

